

## I <報告>

### (1) 松本治一郎・井元麟之研究会

第145回例会（2023年8月22日）は、福岡県水平社初代委員長に就任（1923年7月1日創立：飯塚町公会堂）した梅津高次郎が松本治一郎に出した封書2通（①1935年11月21日、②1935年11月29日）とその2通の中に出てくる梅津良平かと思われる3通のはがきを解読した。梅津良平のはがきは、①は、松本治一郎宛 ②は、山田本蔵宛で、同じ内容で同じ日付の1935年1月14日 ③は、松本治一郎宛 1935年9月7日は、上京したことを治一郎へ報告した内容。次回（146回例会）は、9月19日とした。

### (2) 啓発部会

今年度第5回目となる啓発部会では、「人権問題の解決を、マジョリティ側に焦点を当てて考える～マジョリティ特権とマイクロアグレッションを事例に～」をテーマに、研究討議を行いました。

啓発部会では、昨年度より「マイクロアグレッション」の概念について書物や資料等を読み合いながら、学習を深めています。そこで、マイクロアグレッションに関する言説の整理を行うため、部会員がたたき台として作成の学習資料を読み合いながら、学習を深めてきました。

「マジョリティ特権」「マイクロアグレッション」は、最近広がりつつある概念で、これから人権教育・啓発を推進する上でキーワードのなる概念の一つです。「アンコンシャスバイアス」とあわせて、住民に対してどう分かりやすく伝えていくのかが、今後の課題だといえます。

### (3) 第40回九州地区部落解放史研究集会

1日目(7/27)

黒川みどりさんが「水平社と同愛会 一有馬頼寧の社会運動 一」について講演されました。有馬頼寧（よりやす）は、元久留米藩主有馬頼萬（よりつむ）の長男、母は岩倉具視の五女恒子。妻は、北白川宮能久親王次女貞子。労働運動、農民運動、部落解放運動などの社会活動に関わり、全国水平社が設立されると賛同の意思を表明し演説を行っています。また、衆議院選挙に福岡五区から立候補して当選しています。当時の社会の上層部を形成する一人の貴族が、どのような意識形成のもとに下層階級とされた農民・労働者・部落大衆の問題に関わっていったのかについての報告でした。

有馬頼寧は、「物質上の不平等だけが下層階級への差別を形成しているのであれば物質的な救済で解決するが、社会的不平等がもたらす精神的な差別は、精神の問題として救済されなければならない」、同愛会の設立宣言では、「虐げられ傷つけられた靈魂は、純真なる心（愛と自由と平和に満ちた真の幸福）に触れることでしか癒せない」と言っています。治安維持法の国会審議では、「圧迫されている無産大衆が自分たちの立場を擁護するための運動を起こすことは当然のことであって、政治家はそれを不正なものとして取り締まるのではなく、健全な運動として発達させるよう誘導するのが任務ではないか」と反対質問をしています。また、民衆勢

力から解体されることを怖れてかと思いますが、「階級や個人のために国家があるのではない、皇族・華族は、持っている特権を自ら放棄することで人間として幸福になるのだ」とも言っています。

有馬頼寧は、四歳の時日本橋にあった自宅が火事にあい、浅草橋場町に転居しています。この転居先で、近所の細民の子どもたちと交流し、その生活の様子や意識の在り様を知ったこと、学生の頃の自分と同じ貴族出身のトルストイへの傾倒が、差別はする側の意識の問題だという認識を強固なものとし、後々の同愛会結成や社会運動へとつながっていく重要なきっかけになったのではないだろうかと思いました。

「人と出会い、関心を持ち、何が問題かを理解し、解決に向けて行動する」、どのような立ち位置にいても、人権問題解決へのプロセスは同じです。

2日目(7/28)

九州各県からレポートが提出されていましたが、福岡、熊本、佐賀のレポート中心に報告、協議をしていき、残りは紙上提案という対応で進められました。

福岡からは、当研究所理事の関儀久さんが、「全九州水平社最初の徹底糾弾・中村村長差別事件について」報告しました。中村の安永村長が、村役場に呼びつけた一人の部落大衆に対して殴打し蔑称を用いて侮辱したことから、怒って集まった部落大衆が役場内で破壊行為に及んだという事件です。この糾弾闘争が、「差別こそが悪であり、差別を糾す行為は正義である」という新しい価値規範の承認を日本社会に求めた組織行動であったこと、また、糾弾に際して、「暴力行為は適切ではない、扇動してはならない」という考え方が生起していったことを報告しました。後者の報告について、「権利侵害の問題を、態度の問題にすり替えられたことへの憤りも合わせて理解すべきだ」という意見がありました。

熊本からは、熊本学園大学の矢野治世美さんが、「宗教と部落差別 — 熊本の水平運動から —」について報告しました。西本願寺布教師が、法話の中で「旃陀羅」「業」「部落」を結び付けて差別的説教を繰り返しており、西本願寺の役員もそれを肯定する発言をしていたということに対する熊本県連の糾弾と、井元麟之・田中松月らによる東西本願寺への経典解釈に関する見解を求める闘争へと発展していった経緯についての報告でした。

佐賀からは、佐賀県部落史研究会の中村久子さんが、「佐賀県水平社に結集した人々」について報告しました。佐賀県水平社の発足時には、九州各県連および全国水平社からの代表者、一般参加者を含めて約700名が参列、第二回大会には松本治一郎が開会あいさつをしていること。当時の佐賀県連の特徴として、多くの水平社同人の経済的基盤が食肉産業にあり、運動がその経済的発展による差別からの解放を期待する方向へと傾斜し、明治末からの融和政策との接点を保持する方向で運動が展開していったという報告でした。

講演・報告のあと質疑応答がありました。

印象に残ったのは、「競馬の『有馬記念』は、有馬頼寧の創設になるものであるがその財力はどこから」というのがありました。その時回答は出ませんでした。有馬頼寧は、晩年に日本中央競馬会第2代理事長に就任しています。その時、有馬特例法と言われる「日本中央競馬会の国庫納付金等の臨時特例に関する法律」が制定され、臨時競馬の売上金の国庫への納付が免除されます。それが資金になったと思われます。それと、版籍奉還の後、明治6年に秩禄処分があり、士族に対して平均500円、華族に対しては平均で6万円の支給があります。『福岡の部落解放史・下』にある資料（学校設立にかかる負担金150円を現在の金額に換算すると

約 500 万円) から今の金額に換算すると、士族で約 1650 万円、華族は何と 20 億円になりま  
す。有馬頼寧の父頼萬も久留米藩の大きさから平均程は貰っており、頼寧はその幾分かを相続  
していることでしょう。

もう一つは、西本願寺布教師の差別法話の中に出てくる「どこの馬の骨か牛の骨かもわからん  
ような人間」という言葉は、どこから出たものかというものでした。回答者からは、中国の文  
献にあったと思うが、差別的な言辞として使用されたものかどうかは不明ということでした。

## Ⅱ <お知らせ>

### (1) 第 2 回「公開人権講座」

日時:9 月 16 日(土) 14:00~

内容:「全九州水平社創立 100 周年の歴史的意義」

講師:朝治武さん

参加費:1000 円 会員・学生:500 円

会場:福岡県部落解放センター

(福岡市博多区千代 1-29-12)

趣旨:1923 年5月1日に創立された全九州水平社は創立 100 周年を迎えたが、全国水平社において  
最大の勢力を有し、水平運動において重要な役割を果たした。この講座では、創立の思想、差別糾  
弾、共同闘争、無産政党、議会進出、部落委員会活動、日中戦争との関係などに焦点を当て、歴史的  
意義を明確にする。

第 2 回「公開人権講座」参加申し込みフォーム:

<https://forms.gle/FjnwW3htgXeSpoGu9>

※当日受付あり。

### (2) 第2回外国人部会【保険加入の為、要申込】

日時:9 月 18 日(月・祝日) 午前 10 時集合

内容:出入国在留管理庁 大村入国管理センター周辺 フィールドワーク

案内人:柚之原 寛史(ゆのはら ひろし)牧師

趣旨:今年6月9日、出入国管理及び難民認定法の改正法案が様々な問題があるまま、参議院で  
可決され、改正法が成立しました。2年前には名古屋で収容中のスリランカ人の女性が死亡する  
など、入管施設の収容状況や対応など問題になっています。

ここ大村の施設でも 30 代のネパール人の男性が、運動中に怪我をしたにもかかわらず適切な  
治療を受けられず症状が悪化し歩行困難になっています。当日は祝日で、施設内には立ち入るこ  
とはできませんが、長年にわたり大村入管で面会活動をされている柚之原寛史牧師のお話を聞  
きながら、大村市市内のフィールドワークを行いたいと思います。

(現地集合、現地解散 終了は午後 4 時頃予定)

参加費:無料(現地までの往復交通費は自己負担)

参加定員 25 名(定員になり次第締め切り)

【イベント詳細】

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

【参加お申し込みフォーム】

<https://forms.gle/6QEggWvXwJpv7Y7z5>

(3) 東日本部落解放研究所第 36 回研究・交流集会

日時:9 月 23 日(土) 13:00~16:30

9 月 24 日(日) 9:00~15:00 フィールドワーク 15:00~17:00

内容:9 月 23 日(土) 全体会

地元報告「群馬の部落解放運動の現状と課題」

報告者:深田広明さん(部落解放同盟群馬県連合会事務局長)

記念講演「群馬県水平社創立 100 年史の編集にかかわって」

講師:吉田勉さん(東日本部落解放研究所)

9 月 24 日(日) 分科会

第 1 分科会(歴史)

第 2 分科会(教育)

参加費・資料代等:2000 円~

会場:葦川行政センター(太田市東長岡町 1853)

テクノプラザおおた(太田市本町 29-1)

申込み・問合せ:東日本部落解放研究所事務局 (9 月 13 日(水)必着)

電話 03-5603-1863

FAX 03-5603-1862

メール higashiken-jimukyoku@athena.ocn.ne.jp

(4) 第 16 回筑前竹槍一揆ウォーク in 木屋瀬

日時:10 月 1 日(日)10:00~15:30 (受付 9:30~)

内容:講話「筑前竹槍一揆と木屋瀬」

講師:石瀧豊美さん

散策:木屋瀬みちの郷土史料館、木屋瀬宿

参加費:一般 1500 円 研究所会員 1000 円

会場:長崎街道木屋瀬宿記念館こやのせ座

(北九州市八幡西区木屋瀬 3-16-26)

※9 月 15 日(金)までに下記フォームにて要申込み(定員 30 名程度)

第 16 回筑前竹槍一揆ウォーク参加申し込みフォーム:

<https://forms.gle/HhyA9iGg1j4EfvQH9>

※当日受付あり。

問合せ:塚本博和 090-4999-0873

(5) 部落解放・人権確立第 42 回全九州研究集会

日時:10 月 7 日(土)13:30~開会 (受付 12:00~)

10 月 8 日(日)9:00~16:00 (受付 8:30~)

内容:記念講演「全九州水平社創立 100 周年記念と今後の部落解放運動について」

講師:組坂繁之さん(部落解放同盟九州地方協議会議長)

特別講演「公害病事件と差別と人権—水俣病」

講師:花田昌宣さん(熊本県部落解放研究会会長)

会場:熊本市総合体育館・他

(熊本市中央区出水 2-7-1)

申込み・問合せ：事務局 部落解放同盟福岡県連合会  
電話 092-651-7333  
FAX 092-651-7338  
担当：吉郷・松本

(6) 2023 年度「啓発担当者のための人権講座」  
日時：12月1日(金)13:00~16:30 (受付12:30~)  
内容：演題(仮)「世界の人権、日本の人権 ~これからの人権~」  
講師：横田耕一さん(九州大学名誉教授)  
受講費(資料代を含む)：2000円 研究所会員1000円  
会場：福岡市立中央市民センターホール  
(福岡市中央区赤坂2-5-8)

・ イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

・ 部落史部会

9月9日(土)「地主制度と部落差別」(講師：岸本靖さん)  
<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

・ 教育部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

・ ジェンダー部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

・ 外国人部会

9月18日(月)「出入国在留管理庁大村入国管理センター周辺フィールドワーク」(案内人：柚之原寛史さん)  
<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

・ 啓発部会

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

・ 海外人権スタディツアー企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

・ 部落問題部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

・ 特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—』（川口泰司著）  
新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinkenken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

[info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com) （登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】